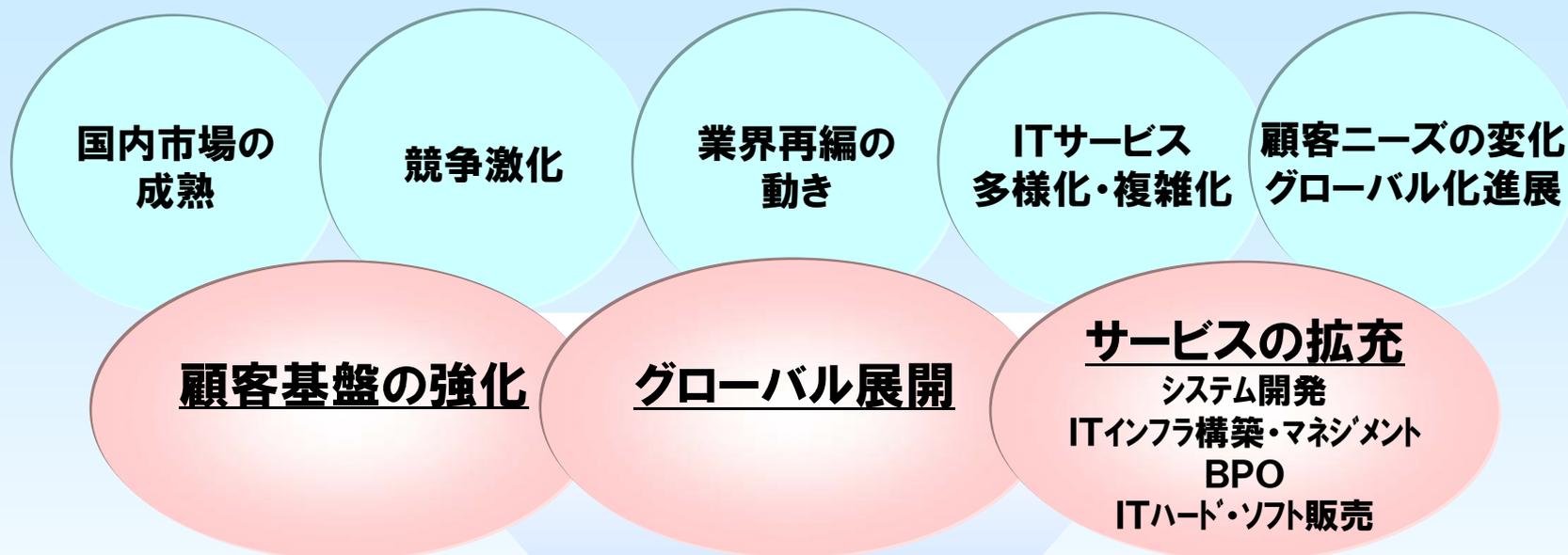

住商情報システム株式会社・株式会社CSK

経営統合記者会見

2011年2月24日

業界環境を踏まえた向かうべき方向性



経営統合により経営基盤を
強化・拡大

業界リーディングポジションを担う存在

統合による経営基盤の強化・拡大

SCS

CSK

経営統合

事業基盤の強化・拡大

▶ ビジネスラインのフルラインナップ化、顧客基盤の拡充、グローバル展開

経営インフラの強化、経営効率の向上

▶ 財務体質の強化、生産性・品質の向上、信用・信頼に基づく顧客満足度の向上

技術力・人材力の強化・拡充

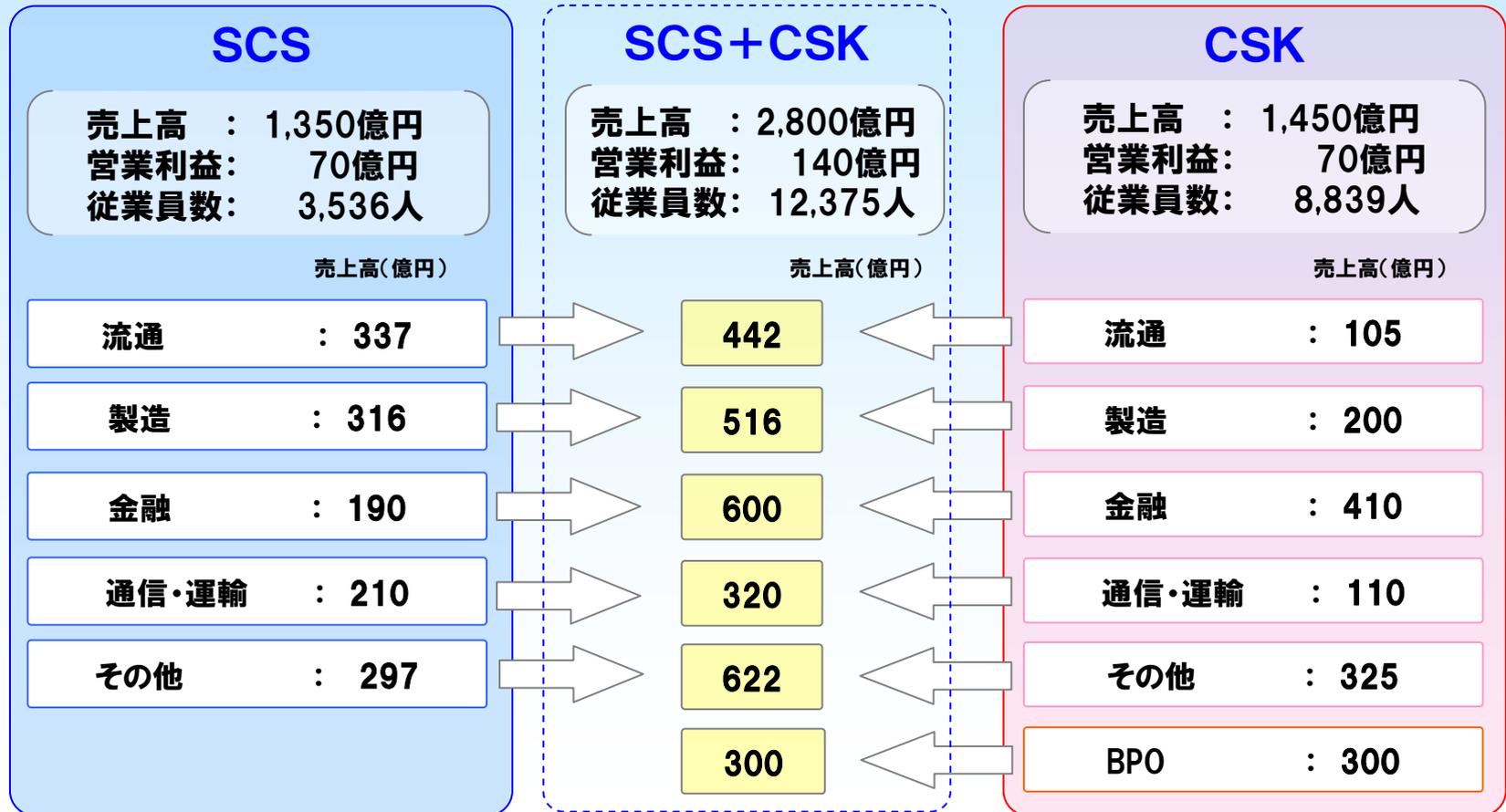
▶ 高度化・多様化する顧客ニーズに対応する強固な技術・人材力

IT業界の明日を切り拓くリーディングカンパニーへ

～ システム開発、ITインフラ構築・マネジメント、BPO、ITハード・ソフト販売まで
フルラインナップを有する業界初のグローバルITサービスカンパニー ～

統合新会社の補完的な産業別顧客ベース

統合イメージ



(注) 数値情報は、SCS及びCSKの直近公表業績予想値(11年3月期)
業界別売上は10年12月期(10年4月～10年12月累計)の数字から推計

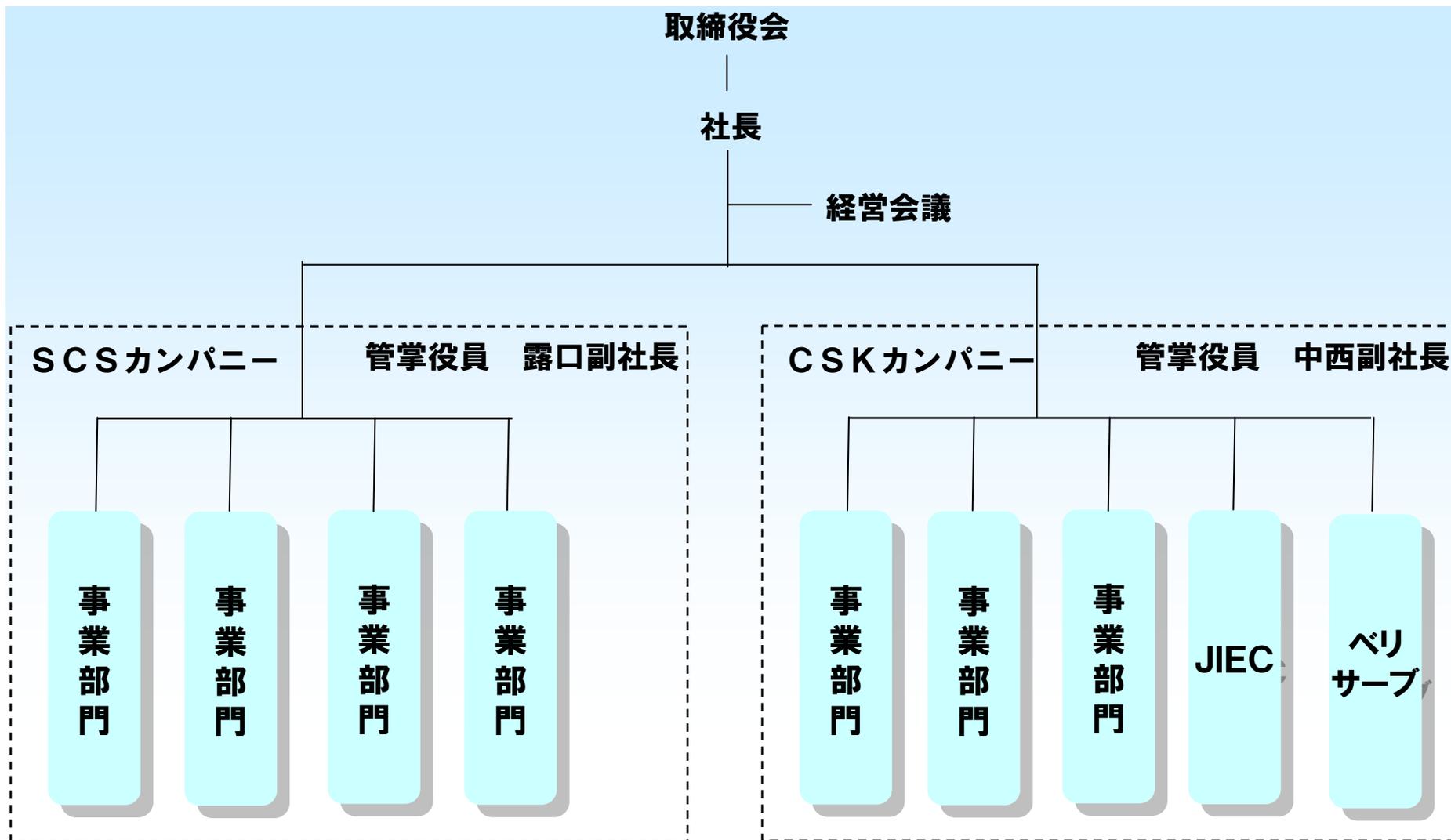
統合新会社の業界ポジション

【10年3月期実績】

順位	企業名	売上高(億円)
1	NTTデータ	11,429
2	野村総研	3,386
3	ITホールディングス	3,139
(4)	SCS+CSK	2,968
4	CTC	2,904
5	NTTコムウェア	2,799
6	日本ユニシス	2,711
7	みずほ情報総研	2,006
8	CSK	1,695
9	新日鉄ソリューションズ	1,522
10	富士ソフト	1,417
11	SCS	1,273

(ITサービス企業のうちシステムインテグレーター専門を抽出)

統合新会社の執行体制



統合新会社の役員体制

■取締役

中井戸 代表取締役社長 社長執行役員

(SCSカンパニー)

管掌役員 露口 代表取締役 副社長執行役員
+取締役 5名

(CSKカンパニー)

管掌役員 中西 代表取締役 副社長執行役員
+取締役 5名

社外取締役 3名 (住商2名、独立役員が取締役1名)

■監査役

監査役 4名 (SCS2名、CSK2名)

社外監査役 2名 (住商1名、独立役員が監査役1名)

統合新会社の社名

- 社名 SCSK株式会社 (英文名 SCSK Corporation)
- 由来
 - SCSとCSKの融合
 - CSは「コンピュータサービス」=ITサービスがコア事業
 - CS (顧客満足) を追求

SCS 住商情報システム株式会社

CSK GROUP 株式会社 **CSK**

SCSK

融合イメージ、ロゴではありません

統合新会社の定量イメージ

【連結ベース】

	統合新会社 (2社単純合算)	SCS	CSK
売上高 (11年3月期予想)	2,800億円	1,350億円	1,450億円
営業利益 (11年3月期予想)	140億円	70億円	70億円
純資産 (10年12月期末実績)	998億円	928億円	70億円
総資産 (10年12月期末実績)	2,932億円	1,172億円	1,760億円
従業員数 (10年12月期末実績)	12,375名	3,536名	8,839名

経営基盤の強化・拡大策①

◆事業基盤の強化・拡大

➤フルラインナップサービス化

- ⇒ システム開発、ITインフラ・マネジメント事業、BPO、ITハード・ソフト販売の有機的な統合によるワンストップサービスを推進する
(多様化する顧客ニーズに対応 ・ 新たな価値、新たなサービスの創出)

➤顧客基盤の補完・強化

- ⇒ 両社の顧客基盤は補完関係(両社上位顧客で、重複は2割程度)
得意産業分野における技術力・ノウハウ・知財等の相互活用により、
各々の分野にてトップポジションの確立を目指す

➤グローバル展開の強化

- ⇒ 住商情報システムの海外ITサポート実績の強みを活かし、お客様の海外進出をサポートすることにより事業拡大を図る

経営基盤の強化・拡大策①

◆事業基盤の強化・拡大（主な具体策）

➤クラウドビジネスの強化

- ⇒ データセンター事業の統合によるインフラ提供基盤の拡充、クラウド基盤等への先行投資、CSKの特色であるBPOも加えたハイブリッド型クラウドサービスの展開

➤ERPソリューション分野の強化

- ⇒ 両社のERPソリューション関連のリソースを融合し、住商情報システムの「ProActive」も含めたERPソリューション分野の強化を図る

◆経営インフラの強化・経営効率の向上

～財務体質の安定化、生産性・品質の向上、信用・信頼に基づく顧客満足度の向上～

➤システム開発の生産性・品質の向上

- ⇒ ニアショア・オフショア拠点、外部委託の効率活用により開発コストを適正化
- ⇒ 両社の開発手法、プロジェクト管理方法を融合し、生産性・品質の向上を図り、お客様のニーズ変化、高度化に応える競争力強化

➤データセンターの効率運営

- ⇒ インフラビジネスであるデータセンター事業において、規模の経済を働かせ、運営コストの削減を図る

➤集中購買

- ⇒ 各種ハード・ソフトの集中購買により調達を効率化する

➤人材の効率配置

- ⇒ 効率的な人員配置により販売管理費の削減、収益基盤の拡充を目指す

◆技術力・人材力の強化・拡充

➤ 技術・人材の融合による提案力、技術力、サービス提供力の強化

- ⇒ 両社既存顧客への取引深耕、新規顧客開拓
大型案件の取り組み
新たなサービスの創造

➤ R&D機能の統合・強化

- ⇒ 両社のR & D関連リソース統合による研究開発機能の強化
最先端技術への取り組み
新規事業の創出

➤ 人材育成制度の統合・強化

- ⇒ 人材力の強化を統合会社の第一の重点施策として推進
両社の人材育成ノウハウを統合することにより、人材強化を図るとともに、
新しい企業文化の創出と融合を図る

統合の要旨

存続会社	住商情報システム株式会社(SCS)	
本合併に係る割当ての内容	SCS	CSK
	普通株式 1	普通株式 0.24
	A種優先株式 1	A種優先株式 1
	B種優先株式 1	B種優先株式 1
	普通株式 1	E種優先株式 2,400
新社名／本社所在地	SCSK株式会社／東京都中央区晴海	
代表取締役社長	中井戸 信英	
合併後の主要株主(予定)	住友商事(50.8%)、ACAI(11.6%)	
上場形態	東証第一部上場を維持	
主な日程	11年2月24日	SCS・CSK両社取締役会における 合併契約締結の決議
	11年3月10日～4月11日(予定)	公開買付実施
	11年6月下旬(予定)	SCS・CSK両社株主総会
	11年10月1日(予定)	合併効力発生